

1	審議会名	真田地域協議会
2	日時	平成26年5月14日(水) 午後7時00分から午後8時45分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、小林史夫委員、小林満子委員、小宮山民夫委員、重野寛子委員 竹村尚美委員、田中新平委員、長崎伊登子委員、長崎理恵子委員、堀内朝子委員 堀内辰一委員、松井よし枝委員、三井秀雄委員、宮下俊哉委員、村田眞理委員 若林正徳委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	高橋センター長、藤沢地域振興課長、山宮市民生活課長兼健康福祉課長 滝澤産業観光課長、依田建設課長、佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長 柳沢真田消防署長、飯島地域政策係長、西澤主査、伊藤主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年6月6日
協 議 事 項 等		
1	開 会	(小林史夫 副会長)
2	会長あいさつ	(三井会長) みなさんご存知かもしれませんが、NHK大河ドラマの放映が決定し、大変嬉しい一報が入りました。この協議会でも、動き方や役割が変わってくると思われます。そんなことも御意見をいただければと思います。よろしくお願ひします。
3	センター長あいさつ	(高橋センター長) ただいま会長からお話がありましたが、一昨日、突然NHKの方から嬉しいお知らせがはりました。心の準備はしていなかったわけですが、これから恐らく多くのお客様が訪れるのだらうと思ひます。真田地域として、受け入れ体制を、これからどうしていこうかということで自治センターの中でも協議を始めているところだす。まだなにも固まっていますませんが、これから方向性が出た段階で、協議会の方へも諮っていければと思ひます。よろしくお願ひします。
4	協議事項	(三井会長 進行) 先ほども少し申し上げましたが、大河ドラマが決定したということで、特に観光や受け入れ体制など、地域の中でどのようにしていくかという話になってくると思ひます。 今日の協議会でのメインテーマは、進め方、アンケートの扱ひ方、にならうかと思ひます。アンケートにおいても結構重いものだすから、今日の協議会の中では十分に協議できない部分もでてくると思ひます。 進め方については、しっかり決めていきたくと思ひます。最初に私が考えていることがあります。委員の皆さんは、いろいろな分野の方が来ていただひておひます。行政との関わりが浅い方や深い方がおられますので、なかなか理解できない言葉、或いはいろいろな出来事があります。この委員の皆さんが、最終的にはアンケートによってテーマを決めていく過程の中で、意見が言えるだけの知識や力量というものを備えていただくことも、大事なことであるということ考えました。今後の進め方において、協議会の中で正しい判断できるように、或いは認識合せということも含めて、10分程度の勉強会をしていったらどうか考えています。今回は用語を3つほど事務局から説明していただきます。今後は皆さんから、6次産業のことや地域づくりにあたってのいろいろなコミュニティ作りなど得意な分野の委員さんもいらっしやると思ひますので、その委員さんに発表していただくこともいいかと思ひます。協議に入る前に、用語のキーポイントになるものが3つほどあります。それを事務局から説明していただけたらと思ひます。事務局お願ひします。 ～事務局から用語解説について説明～

(1) 前回協議会会議概要について

～事務局から説明～

(2) 協議会会議概要（会議録）の公表にあたっての確認について

（会長）会議録の扱いについては、いま説明があったとおりホームページに掲載されます。一旦掲載されたものは手を加えることができません。もし、食い違いがあったことを考えますと、一旦皆さんに見ていただいた上で掲載する方がいいと思います。発言内容を間違ってしまうと取り返しがつきませんので、事前に皆さんに送付して確認してもらうということが考えられます。メールを使える方でしたらメールで、或いは郵便という方法で確認していただくこともよろしいかと思います。御意見あればお出してください。

【質疑・意見等】

（委員）実際に食い違っているところがあります。会議次第の名簿の選出団体に記載誤りがあります。訂正をお願いします。

（藤沢地域振興課長）訂正します。

（会長）この会議は録音しているのか。

（事務局）録音しております。

【決定事項】

- ・会議録はホームページ等に掲載する前に、事前に委員さんに送付し確認していただく。

(3) 平成 26 年度協議会開催予定について

～事務局から説明～

【質疑・意見】

（会長）昨年について、市長からの答申や諮問はあったか。

（藤沢地域振興課長）昨年 25 年度はありませんでした。

（会長）特に御意見なければ、この予定で進めたいと思います。

【決定事項】

- ・真田地域協議会の年間開催日程等について案どおり決定した。

(4) 各委員から

～協議会の中で、実現したいこと、期待したいことについて一言～

（会長）前回は自己紹介をしていただきました。これからアンケートの話に入りますが、皆さんの想いや協議会の進め方など御意見をいただきたいと思います。発表にあたりましては、事前に提出していただいたアンケートに基づいてお話ししたい方もいると思います。アンケートは、12 人の委員さんから提出されていて 26 件でしております。アンケートですので、氏名を出したほうがいいのか、出さないほうがいいのか、役員でも判断がつきませんでした。今回、両方を用意してありますので、どちらを配るか御意見をいただきたいと思います。個人情報にあたりますので、いかがなものでしょうか。実名をアンケートの中でだしてもらうのは困るという方もいらっしゃると思います。よろしいでしょうか。

【質疑・意見】

- ・なし

【決定事項】

- ・実名入りのアンケートを配布する。

（会長）協議会に期待するものや、自分としてはこういうことを検討してみたい、そういった想いも含めてお話いただきたいと思います。発言内容は会議録にのるだけで、とくに集計することはありません。発言内容などもベースにして、アンケート等の書面によってまとめていくことになると思います。それにあたりましては、会議内容の順番が逆になってしまっていますが、事務局の方で、アンケートの内容を簡単に説明をお願いします。

～アンケートについて事務局から説明～

- (会長) 各委員から発表をお願いします。
- (委員) 菅平のワールドカップの合宿地の誘致について考えております。これに力を入れるには、住民の人達がどのよう関わって協力できるかを考えております。
- (委員) 今回、協議会に初めて出席させていただいたわけですが、見るのも聞くのも初めてで戸惑っているところです。まずは皆さんの御意見をお聞きしたいと思います。
- (会長) アンケートの扱いにおいては、今回は時間がとれませんので持ち帰っていただいて、見ていただくことになると思います。アンケートは皆さんから頂いたのですが、それだけで本当にいいのかどうか、もう少し掘り上げていくのかどうかについて御検討をいただきます。いまこの段階でお願いしているのは、この協議会の中で期待することや、想いをお話いただければと思います。これから皆さんと認識を合わせていかないといけないと思いますので、その第一歩ということでお話しできたいと思います。
- (委員) 民生委員で協議会にきているのですが、真田地域の人口減少、高齢者が増えて若い人達が少なくなっている。古民家が増えて長男が跡をとっていない問題もある。婚活とかそういうことに力を入れて人口を増やししながら、発展していければいいなという漠然とした思いです。
- (委員) たくさん思いつくことをアンケートに記載させていただきました。大河ドラマの真田丸が決定したということで、真田幸村が題材になっており、非常に期待をしているところです。いま脚本に注目をしておりまして、真田幸村に焦点が当たると、真田地域の中で「幸村」が、どれくらい関係あるのかということ、なかなか難しいところがございます。真田地域の方にも、お客様にも、関心をお寄せいただけるような内容になって欲しいという期待を持っております。また、上田市の観光は、私の感じるに、どうしても上田城が中心となっておりまして、やはり真田地域が本当の真田発祥であるところをアピールできたらと思っております。真田太平記の時は整備が後でにまわってしまったところもございます。観光客によって交流人口が一時的に増えても、その後、住んでいる人がどれだけ幸福度が上がるのかなということも考えております。地域や住んでいる人が元気になれるようなことをいろいろ考えております。
- (委員) 私はここに越してきて8年になります。東京からお客様がくると、ここはすごくいい所で住みたいという声を聞きます。地域には空き家がたくさんあって、空き家の活用というものを考えています。何軒も家を持っていて、古い家を片付けたいのだけれど、高齢のため片付けられない人のために、部落みんなで片付けてあげて、その古い家を貸し出せるようにしたい。引っ越して来た人と大家さんとの間でうまくいかない困るので、自治会の役員などで、引っ越してくる方の審査をして貸してあげればうまくいくと思います。また、引っ越してきてうまくいかないときには、自治会の役員さんに間に入ってもらったりすればいいと思っています。地域の会にも提案したことがあるのですが、なかなかそこまでいくと難しいです。ここにくるお客様はここが気に入っていて、地域や近所の人柄もいいし、野菜も美味しいし、空気もいいし、すごく気に入っています。
- (委員) ゆきむら夢工房を中心に、地域内の展示物などをもう少し観光的に広めていければいいのではないかと提案できればと思っている。
- (委員) 学校の読み聞かせのボランティアとか図書館サポーターの会をやっています。その中で若い人が出てきてくれるようになればいいなと思います。これから高齢化になってしまって、そういうことも問題になってくると思います。
- (委員) だんだん年を重ねてくると、身近なことができないという問題があります。市長のお話にも「健幸都市づくり」というような発言もありますので、このようなテーマを出してみました。当事者にとってみれば大変なことです。向こう三軒両隣の小さなことから、地域内分権につなげていけたら思ひまして、アンケートを書かせていただきました。
- (委員) 私は、前回・前々回と分科会の分科会長をやらさせていただきました。今になって感じるのは、これだけ多くの委員の皆様、自治センターの皆様にご覧にさせていただいて会議をやるので、多くの可能性を秘めていると思う一方で、月1回2時間弱の会議で、一体どれくらいのことのできたのかと思っています。意見書をまとめたり、市長さんへの提出も行ったことがありますけれ

ども、「公共交通」とか比較的大きなテーマもちろん大事ですが、地域協議会の分科会で議論して、結果として良かったなと思うには正直実感しづらかったと思っています。過去の反省でありますので、分科会での検討をされるようでしたら、相当内容を絞っていかないと、これをやってよかったとならないと思います。実現性のあるものをやるためには、かなり思い切ったテーマの絞り込みというのは必要になるのではないかと感じております。

(委員) 団地に住んでいるが、越してきたころは若い人がたくさんいたのですが、20年ほどして子供さんが結婚されて、その方が残ってくればいいのですが、他の自治会に家を建てたり、仕事の関係で地元から離れている方が多くて、60歳以上の方が多くなってきているのが現状です。若者が定住できるような環境づくりや、地産地消など、将来も持って行きたいと思えるような環境にしていけたらいいなと思っている。

(委員) 前回の協議会の時に、真田図書館が新しくなったのは協議会の働きがあったからだ初めて知りました。あとになってよかったと思われるようななにかができたらいいなと思っています。

(委員) 自治会長もやっております。日頃、騒がれております限界集落、ここへきて消滅集落という言葉が話題になっています。20年30年経って真田地域の36自治会がどうなっているのか、非常に心配な種になっています。なんとか、将来を見つめた意味でのお助けになればいいなと思っています。

(委員) アンケートにも書かせていただきましたが、真田幸村がドラマになる、ラグビーワールドカップがくる、そしてその後には東京オリンピックがくる。外国の方や国内の方も地方に足を向けていただく機会が増えるだろうということで、やはり観光の振興ということを進めていただければいいかなと思います。ただ、観光といっても一時期だけではなくて、それによって残る資産で、真田地域がより活性化できるようになればいいと思います。私も、2年間、分科会でやらせていただきました。2年間で意見書をまとめたわけですが、民間企業に働いている立場からすると、レスポンスが鈍いというか、動きが遅いというのが本当の思いです。例えば、真田幸村が決まりました。これは2年後です。これに向けてやるには、2年後になにかをまとめましたというのではなくて、その時には成果がだせるような、クイックレスポンスで動く必要があると思います。

(会長) 皆さんには、この協議会の委員の方が、どういう方がいて、どういう想いか、だんだんと知っていただけたらと思います。それから、何年か協議会を経験した方がいらっしゃいます。そういった方は経験してきたことを、できるだけ発言していただきたいと思います。次の議題に進みます。

(5) 協議テーマの検討について

ア 第5期協議会におけるテーマ別協議について

～事務局から説明～

(会長) 進め方につきましては役員会と事務局との間ですり合わせをしております。その中で私共の考えを申し上げますと、市民のための結果をだすことが一番です。いい結果を得るためには、やはりしっかりとした調査、絞り込みということが必要であると思います。要するに、たくさんアンケートがあって、その中からやるべきテーマを抽出するということが必要であると思っています。時間をかけるということにおいては、時間が経ってしまうと記憶が薄れますので、短時間の中で結論がでて、実行ができるものということを確認したいと思います。それから実行するにあたっては、実行する人間や検討団体の方が、分科会の中にオブザーバーとして入っていただくことや、自分達が参加した中で結果をだしていく、というやり方もいいのではないかと考えております。例えばNPO法人の方だとか市議会議員さんだとか、一緒に分科会に参加してもらったらどうかと思っています。あくまでオブザーバーという形ですので権限はありません。実は市議会議員さんからはオファーが既に来ております。実効性のある形、結果ができるような形にもっていきたいと思っています。

そのためには、たくさんの人からのアンケートなどの要望を通じてできるだけ網羅したいと考えています。例えば、考えが偏ってしまっていると、母集団が少ないので、結果のところ

結びついた信憑性・有効性がどうなのかということになります。ただ、沢山のテーマがあった場合においては絞り込みづらくなってしまいます。事務局で案を作ってくれと思いますが、いろんな評価項目がでてくると思います。協働、地域づくり、まちづくりなどの評価項目や、効果、時期、実現性など、いろんな評価項目がでてくると思います。評価によって、ある程度機械的に選別ができると思います。それで協議会が決めていく。やはり過程を経てきたものの方が、信憑性は高いだろうと思います。そんなことでスケジュールを作ってもらいました。

まず一つはアンケートということで、今回のアンケートの26件ということだけでいいのか、もう少し対象を拡げるのかということについて御意見をいただきたいと思います。絞り込みにおきましては地域まちづくり方針に沿っていただければならないということになります。それから、評価項目としては、さきほど説明しましたとおり、評価して絞っていくということで、福祉だとか教育だとかあるいは観光などのいろいろな分野、年齢層別においては若い人、高齢者の人、ということができるだけ網羅した方がいいと思います。或いは皆さんから出てきたものは代表なのでそれに含まれているという考え方もあると思います。ですから、もう少しアンケートを拡げるのかということをお聞きしたいと思います。すなわち、早走りしてしまって、そこを飛ばしてしまうと、十分な吸い上げ、要するに市民からの吸い上げをせずに出来たものにおいて漏れがあった場合には、協議会として、それで大丈夫と言い切れるのかどうか、ということを含めて御意見を頂きたいと思います。

やり方としましては、この協議会からの皆さんのアンケートで抽出してテーマを決めるというやり方、もう一つは対象となりそうな各団体のところに充ててアンケートをだしてもらう方法などがある。もっというならば、これは実現性という部分においては検討を要するのですが、例えば広報のところに欄を設けて市民から提出してもらおうということも考えられなくはないと思います。いろいろと問題はおきそうな気がするのですが、少し御意見をいただきたいと思います。アンケートを見て、これでどうでしょうか。網羅できているのか、これ以外のところにもテーマがありそうかどうか。

(副会長) 現段階において、委員の皆さんにアンケートの内容がどうかと聞かれてもわからないと思う。これを読んできていただいて、どういうことが書かれているか頭にいれておいていただいてから、いま会長さんがおっしゃったことをやった方が、いいのではないかと思います。これを見て、アンケートを提出している方の部分はわかりますが、初めて見る方はわからないと思います。たいへん難しいことも書いてあったりしますので、一通り目を通していただいてから、検討すればいいと思います。

(会長) 今日時間があつたら、アンケートについて時間を割いて、検討しようと思ったのですが、時間がありません。また、一ヶ月遅れてしまうと、もし各団体の方にアンケートを提出してもらうとなると、スケジュール的には一ヶ月遅れるということになります。遅れたとしても、内容のよいテーマで絞れるのであれば、それはそれでいいということになります。いま副会長からお話があったような進め方もありますが、いかがでしょうか。

(委員) 昨年度の協議会では、どのようにしてテーマを決めていったのでしょうか。

(副会長) 私達のアンケートではなくて、行政の方からテーマを与えられて決めていった。今日みたいなアンケートというものはとらないで、行政の方から提案していただいた。

(会長) 当面のスケジュールをご覧ください。このところに、自治センター各課から行政が抱えている課題で、地域協議会と一緒に解決に向け取り組んでいくテーマをあげるとあります。自治センターでは行政サービスをやっておりますので市民からのいろいろな要望は聞いているはずですが、そこで捉えているものを取り入れていくということにすれば、各団体や市民からのアンケートはとらなくても出てくるだろうという考えはある。逆にいうと、行政の方でそういうものを捉えていないはずはない。聞こえていないはずはない。それと、われわれからのアンケートだけで進める方法もある。

(事務局) 先ほど前回のテーマという話があつたが、行政の方からというお話もありましたが、前回もこういったものやってみたいということで希望はおとりしています。第1から第3希望という形で取っております。その中で、今回と同じような形ですが、地域まちづくり方針別に、

ある程度テーマを分けまして、それで協議をしていただきました。行政から全部というお話ではありません。

(委員) 委員さんからテーマがあがりましたが、それは全てではないと思いますが、行政の皆さんに拾ってもらおうというやり方もあると思います。自治センター各課の問題と、各委員さんからあげられたテーマと一緒になるものもあると思う。

(副会長) テーマは一緒になるものもある。言葉の表現は違うが、内容的は一緒になるところもある。

(会長) 事務局、前回の協議会で各課の課題を発表してもらいましたが、それ自体が協議会のところと関係するというお話でしょうか。

(事務局) そうことではありません。委員の皆さんからこんなテーマに参加したいと、そのテーマを委員さんから、第1希望から第3希望まで記載があるのですが、すべて書いていただいているわけではないのですが、それもお書きいただいて、要はアンケート的な形で、お出しいただいておりますとう話です。テーマを設定するときの話になります。

(会長) いま私が話しをしているのが、アンケートの拡がり、母集団として26件で、これで絞込みに入るか、もう少し拡げた方がいいのか、要はこれが、真田地域協議会の中での絞り込みにおいて十分な元データが集まっているかどうか判断がここにあります。

(委員) まだ、すべての委員の方からアンケートの提出がないので、その方も意見も出してもらうのが一つの方法である。

(委員) 各団体からあがっているのだから、自分だけの考えではなくて、各団体の考えも入っていると思う。だから、必ずなにかあると思うので全員にだしてもらった方がいいと思います。

(委員) 地元には地域づくり委員会というものがある。各自治会で優先順位が決められていると思う。その要望を協議会にもってきたらどうかと思う。要望には道を直してくれとか、水路を直してくれとか多いのですが、なかには地域の中のいわゆる全体のテーマになるようなものもあると思うので、つぎの協議会までにそれを一回見ていただいて、そうすればある程度、地域の問題点は浮かんでくると思う。それである程度テーマを3つとかに絞り込んでやれば、分科会に分けてもやりやすくなると思います。20人の委員といっても個人的な思いもありますし、地域の思いもあると思う。テーマを決めるだけでずれていってしまう可能性があるので、そのほうがいいと思われます。

(会長) それは、自治会の中での課題が多いとは思いますが。

(委員) 道路などの要望以外のテーマもあると思う。いままでの話では、空き家が多いとか、高齢化が進んでいるとか、人が少なくなっていることが多いのであれば、その空き家のところに人を入れてもらうという仕組みを作るといことを考えるのもいいと思う。

(会長) 実はアンケートのところにキーワードの欄を作ってもらった。それはこういうことに使おうと思っていた。高齢だとかコミュニティだとか協働だとか情報だとか、これがでてただけで非常に役立つ。というのは各自治会の中で課題といわれるものを、この中にいれたりすると、テーマとしてあがってこなくても、われわれが判断するときにおいて、各地域の中でどういったキーワードがでていくかということが、絞り込みにおいては、かなり使えると思います。ここを見ると、キーワードで高齢、遊休地、コミュニティだとかそういったものがキーワードとしてでてくるということは、やはりこの地域でのひとつの課題にあがってきている。ただ、いろんなカテゴリが入っていますから、使い方あるいは見方は違うかもしれないけど、こういうキーワードがでていきますよということなんです。これは、絞り込みに使おうということでもとめていただいたんです。そういう点からすると、先ほど言いましたように、まず行政側からでている各課のものと、自治会の方から地域づくりのための要望の中でわれわれに関係するところを抽出していただいて、それをもとに絞り込むこともいいのかなと思います。みなさんどうでしょうか。一旦アンケートを終わらせてそれから絞り込みに入っていくということになるかと思いますが。いかがでしょうか。絞り込んだならば、分科会ということで、3つか4つに分けて、みなさんの希望するところを書いていただいて、メンバーをできるだけ平均数に合わせて分けてそこで検討していただくことになろうかと思いますが。ということで、8ページの協議の進め方についての案ということですが、先ほど私が申しあげた内容で、真田地域としては、要望・テーマを吸い上げたということにするということによろしいでしょうか。

- (副会長) 自治センターの課題と地域づくり委員会からの要望をまとめて課題とするということか。
- (会長) その中から課題・テーマを決めていくということです。そこを元に我々のテーマを絞っていくことにしたいということです。我々の役割はこの地域の中でのテーマを検討しなければならない。この地域となると漏れがあってはいけないということを懸念材料としています。ちゃんと網羅しているということであるならば、それで進めていくのは問題ないと思いますので、どうでしょうか。
- (委員) もう少し詳しく説明してください。
- (会長) いまテーマを絞ろうとしているのですが、テーマを絞ることについては、アンケートをみなさんからいただいて、それを元にテーマを絞っていくわけです。観光だとか、農業だとか、コミュニティだとか、その元になるアンケートといわれる調査の段階で、市民の多くの人達が思っているテーマとするものが吸い上げられてきているのかどうか、皆さんからだしていただいている 26 件の中で、この地域の中の多くの人々の思いが入っているというのであればいいのですが、漏れがないかどうか心配ですねということ。皆さんからのアンケートと行政から出てきたものと、各自治会からの地域づくり委員会からのものを元にテーマを絞っていくということではよろしいかということです。
- (委員) それなら、アンケートをとる前にそれを考えて欲しかったです。議論が前後していると思います。
- (会長) そうですね。日程は遅れますが、そこが非常に大事なんです。例えば、広報を出すという話になれば、市民のみなさんからの意見を求めて、事務局に提出するやり方もあります。そうすると、いま決まれば、最短でいくと地域センターだよりのところに記事を掲載して、集めて、ということもできなくはない。そこに時間を 1 ヶ月かけるか 2 時間かけるか、それでも精度がもし悪かったとしたならば、悪い精度のまま決まったテーマを検討しても、本当にこの地域のためになるかどうか考えた時に、どっちをとるかということだと思います。いまこの進め方であれば、わりと早いと思っています。2 回目でこれだけの材料がでてくれば、これで議論に入ってしまうでもいいんです。いいのですが、これをもう 1 ヶ月、2 ヶ月遅らせて、もうちょっとアンケートの案を拡げることでもいいと思います。
- (委員) 極端に言えば、漏れが完璧にないよということになると、真田地域に住んでいる皆さんひとりひとりに全部アンケートをとらなくてはいけなくなる。はたしてそれが現実的なのかどうか、地域協議会で各団体のみなさんということで、地域の代表としてこれだけの皆さんにお集まりいただいているのに、なお、漏れがあるのではないかと、よほど細かいところまでつきつめなくてはいけないかということになると、この 20 人の委員の意味ってなということになって、最初からいらぬのではないかとということになりかねないと思います。ですから、私はこのアンケートをみますと、ほぼすべての課題というのは網羅されているのではないかと思います。重大に落ちている項目はないように思えます。基本的には、いま手元にあるもので十分だと思います。どのみち、この中からさらに絞り込まなくてはいけないわけで、どうしても落ちがでるものはやむを得ないわけですから、私はこれで十分かと思っています。
- (会長) その他の皆さんの御意見はありますか。いま、非常にいい意見がでたと思います。各団体の代表としての責任があるということになりますので、それをベースに進めていくことが本来のやり方だと思う。となると、もう一度、追加するアンケートがあったり、出てきてない方においては、できるだけだしていただけるようお願いをして、それをベースに自治センターの方で、行政からみた要望や課題をいれていただいて、それをベースに進めていくということではよろしいでしょうか。

【意見・質疑】

- ・なし

【決定事項】

- ・協議テーマの検討方法について決定

イ アンケート内容の確認

- (会長) これは皆さんみておいていただいて、次回の中ですめたいと思います。

5 その他

(1) 平成 26 年度上田市当初予算 真田地域に係る予算概要について
～資料に基づき、各課所長から説明～

(2) 次回協議会開催日時について

(副会長) 次回は 6 月 25 日 (水) 午後 7 時からでよろしいでしょうか
・全員了承

(副会長) 他になにかありますか。

(会長) 先ほどキーワードというお話をしたのですが、アンケートの中でコミュニティという言葉が 4 件でております。〇〇委員 (個人名) さんにコミュニティのあり方について、次回お話をお願いできないでしょうか。

(委員) 承知しました。

(会長) キーワードについては事務局のほうと相談して、説明したいと思います。よろしくお願ひします。

(副会長) 事務局なにかありますか

～事務局から配布資料の説明と連絡先について説明～

6 閉会